

---

JASDAQ

平成21年12月期  
(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

# 決算説明資料



株式会社ジェイホーム

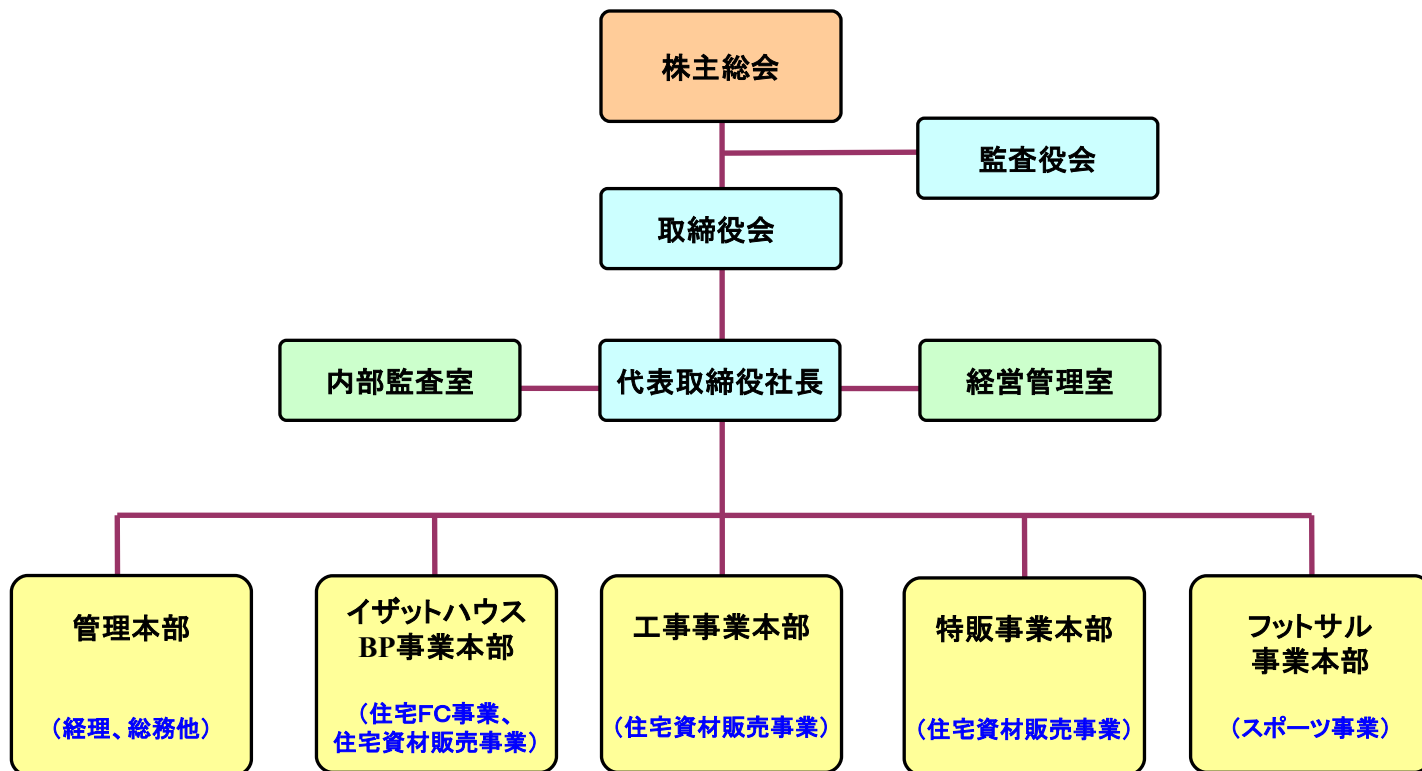
(証券コード:2721)

<http://www.j-home.com/corp/>

1. 企業の状況
2. 平成21年12月期 決算概要
3. 平成21年12月期 業績予想
4. 平成21年12月期 重点施策
5. お問い合わせ

本資料は、平成22年3月31日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、不確実な要因を基に予想した内容も含まれております。  
そのため、今後の市場動向等様々な要因によっては本資料記載の内容と異なる結果となる可能性があります。

(平成22年3月30日現在)



---

---

平成21年12月期  
決算概要



# 平成21年12月期の総括

---

## ◆総括

- ✓世界的な金融危機の影響により、企業収益や雇用情勢が悪化し、個人消費も低調に推移した。
- ✓次第に新設住宅着工戸数の持ち直しの兆しがあるものの、昨年通期では80万戸を割り込むなど、今後も当面厳しい状況が続くと推測される。
- ✓低コスト体質への転換と収益力の向上をはかるため、住宅資材仕入の見直し、人件費、本社事務所賃貸料、事務所経費等を中心にコスト削減、利益率の改善を推進した。
- ✓昨年7月からフットサル施設3店舗の運営がスタートし、順調な売上を示しているが、大きく収益に貢献することはなかった。
- ✓以上の結果、売上高7億50百万円、経常損失95百万円、当期純損失1億03百万円となった。

# 平成21年12月期の総括

---

## ◆セグメント別の状況

### 【住宅F C事業】

- ✓昨今の住宅市況の悪化で、資金繰り等が著しく悪化しているF C加盟店が増加。
- ✓加盟店の退会、休会を避けることができなかった。

### 【ウェブダイレクト事業】

- ✓戸建新築の引き合いがあったが、消費者の購買意欲の減退等の影響で正式受注には至っていない。

### 【住宅資材販売事業】

- ✓住宅ローン減税、贈与税の非課税措置、住宅版エコポイント制度などの話題はあるが、新設住宅着工戸数の低迷や大型工事の減少が続いたことが大きく影響した。

### 【スポーツ事業】

- ✓景気低迷の中、誰でも気軽に楽しめるのレンタルフットサルコートが計画通りに推移した。
- ✓特にフットサル大会、フットサルスクール等のイベント開催は好評だった。

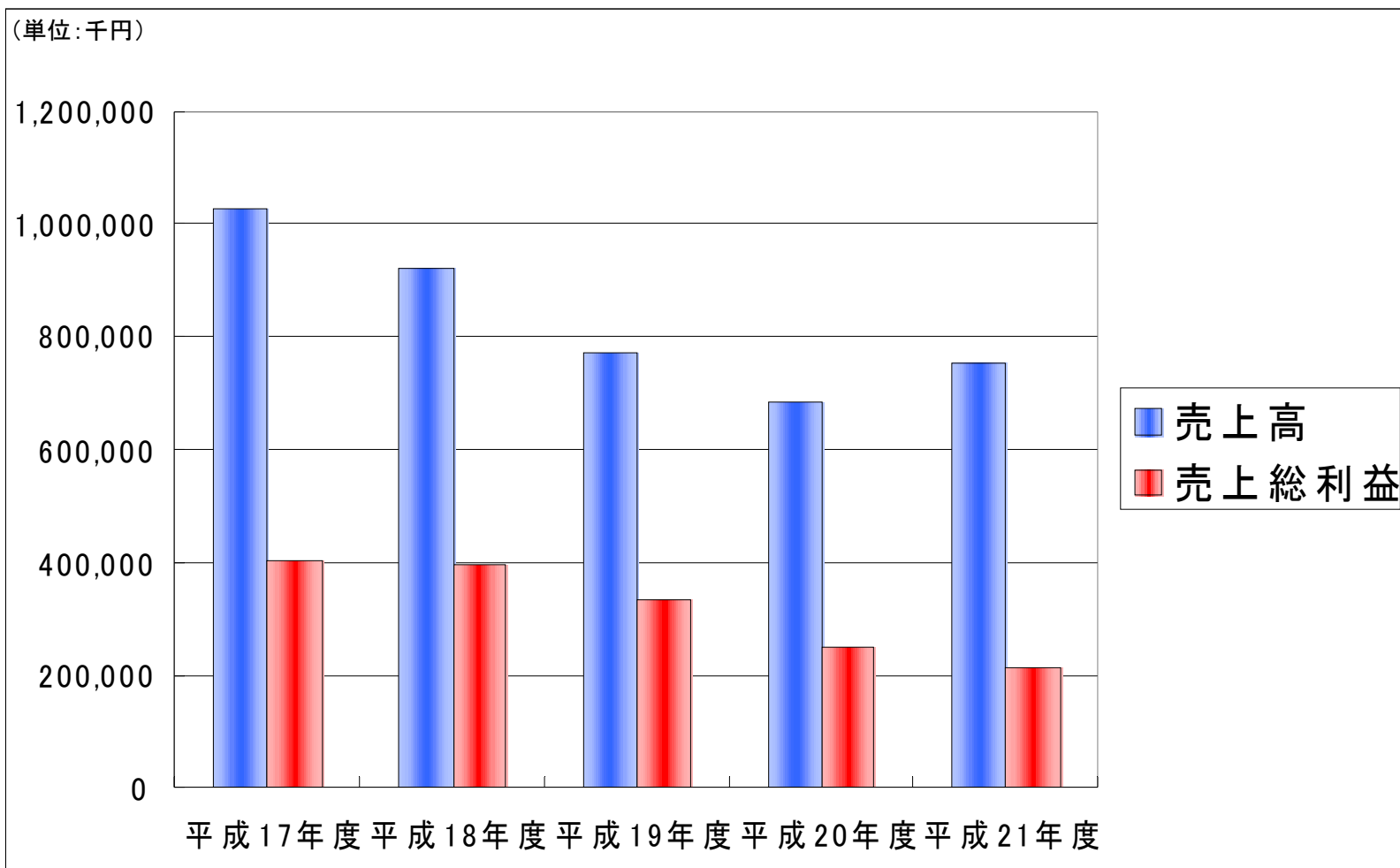
# 決算概要（推移）



（単位：百万円）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	前年増減
売上高	769	683	750	66
売上原価	437	435	537	102
売上総利益	332	248	212	△ 36
販売管理費	361	294	300	6
営業利益	△ 29	△ 45	△ 87	△ 41
経常利益	△ 31	△ 43	△ 95	△ 44
当期純利益	△ 106	△ 28	△ 103	△ 120

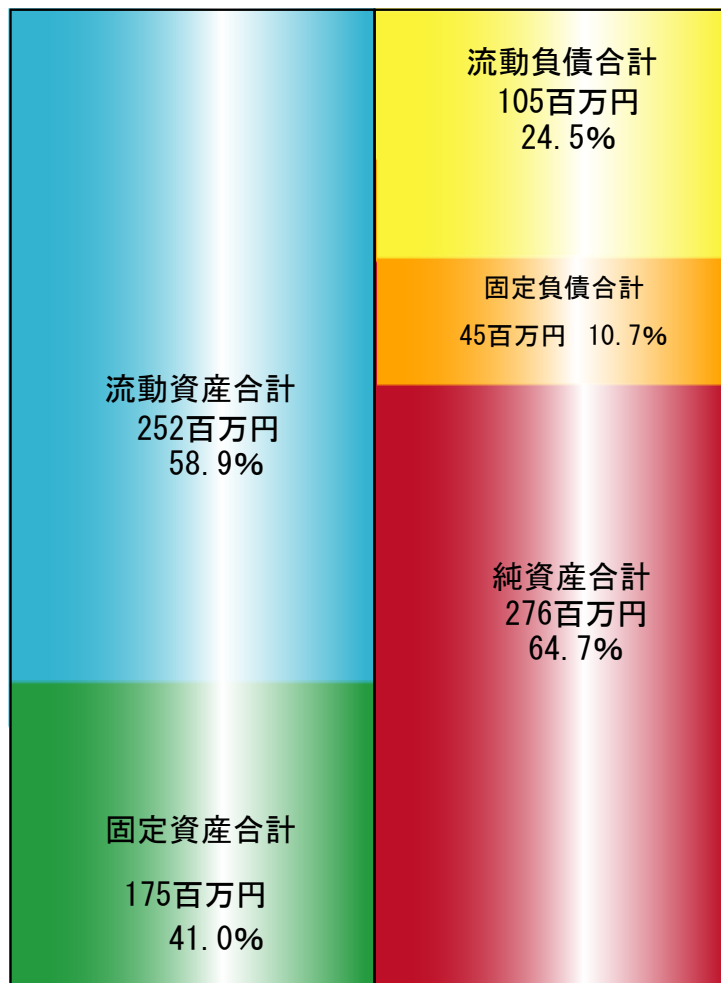
# 売上高・売上総利益（推移）





# 平成21年12月期 貸借対照表

**資産合計**  
**427百万円**



**負債合計**  
**150百万円**

**純資産合計**  
**276百万円**

(平成21年12月31日現在)

## キャッシュフロー計算書

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
税金等調整前当期純利益	△ 31	△ 34	△ 103
営業活動によるキャッシュフロー	△ 29	△ 1	△ 101
投資活動によるキャッシュフロー	-	-	△ 147
財務活動によるキャッシュフロー	△ 2	△ 22	178
現金及び現金同等物にかかる換算差額	-	-	-
現金及び現金同等物の増減額	△ 32	△ 1	△ 70
現金及び現金同等物の期首残高	188	155	154
現金及び現金同等物の期末残高	155	154	83

---

---

平成21年12月期  
業績予想



# 通期業績推移および予想

(単位:百万円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前期比
売上高	806	750	<b>1,229</b>	63.8%
営業利益	△ 64	△ 87	<b>41</b>	—
経常利益	△ 62	△ 95	<b>44</b>	—
当期純利益	△ 34	△ 103	<b>44</b>	—

- ✓今期も住宅用火災警報器の取り付け義務化による追い風の影響もあり、引き続き好調な販売が見込まれる。
- ✓今期から新たな加盟ロイヤリティモデルを確立し、新規加盟店募集活動を再開する。
- ✓太陽光発電については環境に対する関心の高まりを背景に、省エネ商品「nesta」との相乗効果による営業展開に注力する。
- ✓FIFAワールドカップの追い風要素もありレンタルフットサルコート売上が好調が見込まれる。
- ✓フットサルイベントの開催、プロ選手等によるフットサルスクールなどを積極的に行うことにより、収益の向上を目指す。

※平成22年度の数値は、平成22年2月15日発表の予想数値であります。

---

# 平成21年12月期 重点施策



1. FC加盟店の強化(住宅FC事業)
2. ブランディング活動の強化(住宅FC事業)
3. スポーツ事業(フットサルコート)の推進
4. 商品開発力の強化(住宅FC事業、住宅資材販売事業)





### 3. スポーツ事業(フットサルコート)の推進

#### ◆フットサルについて…

フットサルはサッカーほど広い場所や人数を必要としないことから「屋内版サッカー」とも言われており、近年のサッカー人口の増加に伴いその競技人口は急激に増加しております。

日本サッカー協会によるフットサル普及活動の効果もあって、現在、国内における競技人口は、サッカー人口と合わせると約1,000万人に達しており、これはテニス人口(500万人)の2倍の規模で、さらに増加傾向にあります。



- ①フットサルポイントSALU川口  
(所在地:埼玉県川口市栄町3-4-9)
- ②フットサルポイントJ-POINT浦和美園  
(所在地:埼玉県さいたま市緑区大字大門字弦巻2377-6)
- ③フットサルポイントSALUつかしん  
(所在地:兵庫県尼崎市塚口本町4-8-1 つかしん南館屋上)



## 4. 商品開発力の強化-a

### 住宅FC事業



家計が助かる家～ネスタ～

Q値 = 1.0 w/m<sup>2</sup>・K

冷暖房費 1/5

外壁材メンテナンスフリー

住宅性能評価 最高等級 5 項目



### 住宅材販売事業

## 〈住宅用火災警報器〉

火災警報器の取り付け義務化を受け、過去の建築主様等をターゲットに拡販を実施。

OEM商品の開発・販売も予定しています。



## 4. 商品開発力の強化-b

### 住宅資材販売事業

#### 〈エネルギー関連事業〉

～『省エネ』から『創エネ』の時代へ～

地熱と空気熱、両方の熱を効率的に利用する新しい発想のヒートポンプシステムです。

太陽光発電システムを始めとした自然エネルギーを有効利用するシステムの提案・販売を行っていきます。



## 4. 商品開発力の強化-c

### 住宅資材販売事業

#### 〈空調事業〉

##### ◆空調業界とは…

- (1) マーケットが大きい⇒普及率は100%で販売・工事・保守・洗浄など幅も広い
- (2) 環境問題に大きく関連しているエコ商品  
⇒総電力需要の50%を占める商品であり、CO2削減に大きく貢献できる
- (3) 業界内が旧態依然としている⇒基本的に地域小規模下請工事業者の業界



**本資料に関する  
お問い合わせ**

A large, stylized logo for J-home, with the letters "J-home" in a bold, grey sans-serif font. The "J" is significantly larger than the "home". The logo is surrounded by several red and orange squares of varying sizes, some of which are partially overlapping the letters.

**株式会社ジェイホーム**

**担当部署** : 経営管理室  
**ホームページ** : <http://www.j-home.com/corp/>  
**電話番号** : 03-6430-3461  
**E-mail** : [ir@j-home.com](mailto:ir@j-home.com)